

徳島市
広報

とくしま

K O H O T O K U S H I M A

(ホームページ) <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/>
(携帯) <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/i/>

No.798

2009 1月1日

平成20年12月1日現在

(前月比)
人口 259,526人(+48)
男 123,393人(+21)
女 136,133人(+27)
世帯数 110,835世帯(+92)
面積 191.39km²

謹賀新年 平成21年元旦



新町川や助任川で、自主的に環境保全活動に取り組んでいる「あわっ子!エコークラブ」の子どもたちと原市長(新町橋東)

新年の「あこわし」

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、希望にあふれる新年を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、多くの市民の皆さまのご支持を賜り、栄えある徳島市長として再び市政のかじ取り役を担当させていただきましたこととなり、その重責をかみしめながら、「まち」も「ひと」も元気で安心して暮らせる、互いに信頼のきずなで結ばれた徳島市の創造を目指して、緊張感を持って取り組んでいるところです。

今日、私たちを取り巻く社会は、少子高齢化の進行や、環境問題の深刻化、東南海・南海地震の発生確率の上昇などさまざまな問題を抱えています。加えて、米国に端を発した金融危機が世界経済に深刻な影響を与え、わが国の景気の動向とともに、地方の実体経済への影響が懸念されているところです。

こうした変化の時代にあつて、徳島市もまた、本格的な地方分権社会に対応しながら、自主性と自立性を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会を構築し、四国東部圏域の中心都市としての役割を果たしていかなければなりません。そのためにも、本年に最終年度を迎える行財政健全化計画を確実に成し遂げ、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立に努めてまいります。これまで皆さまのご理解ご協力をいただきながら計画を上回る成果をあげてまいりましたが、引き続き、気を緩めることなく全力で取り組んでまいります。

本年は、市制施行120周年の節目の年となります。先人から受け継いだ伝統や文化を大切に守り育てながら、徳島市の将来像である「心おどる水都・とくしま」の実現を目指し、市民の皆さまが「このまちに生まれてよかった、住んでよかった」と心から実感できるような、全国に誇れる新しい徳島づくりに全身全霊をかけて取り組んでまいりますので、さらなるご支援をお願い申し上げます。

新しい年が市民の皆さまにとりまして、幸せ多い年でありますことをお祈りいたしまして新年のごあいさついたします。

徳島市長 原 秀樹

～市制施行120年～

写真でつづる 私たちのふるさと 徳島市の歩み



2009 新春特集

2009年。新しい年が始まりました。徳島市は、市制施行からことして120年を迎えます。明治22年10月1日に33カ町村と4つの郷村が合併して誕生した徳島市は、当時人口わずか約6万人でしたが、今や人口約26万人に増え、県都にふさわしい近代都市として着実な発展を遂げています。

そこで今号では、私たちのふるさと徳島市のこれまでの120年を写真で振り返ります。



▲市庁舎 明治23年、現徳島地裁北側に新築された市役所庁舎。当時としては、スマートな洋風建築であったが、昭和5年に失火が原因で全焼した。右上は、火災で全焼後、昭和8年に現在の場所に新しく建てられた庁舎。前に見えるは、埋め立てられる前の寺島川と徳島橋。



▲徳島駅 明治32年、徳島鉄道（徳島―鴨島間）の開通にともない建設された。当時は城山も顔をのぞかせ、主な車といえば鉄輪の人力車、自転車であった（明治40年撮影）。昭和20年の空襲により焼失し、昭和26年に徳島駅舎が再建された。平成5年に新しくターミナルビルが完成し、商業施設やホテルなどの建設によりすっかり様変わりした。



▲新町橋上から望む西横町（現在の元町） 当時の商業、娯楽の中心地であり、鉄道の開通によって、多くの人でにぎわっていた（明治34年）。
◀現在の市役所庁舎。昭和59年に本館、昭和61年に南館が完成。



明治

▶助任橋 明治7年に完成した助任橋。全長90m・幅員4m、石橋としては当時全国最長（明治40年撮影）。当時の交通はかぎられた橋と渡船に頼っていた。

▼鷲の門 徳島城鷲の門と月見櫓（明治初期）。徳島城は明治8年に解体され、鷲の門は昭和20年の戦災で焼失。その後、平成元年に現在の鷲の門が復元された。



▶佐古浄水場

大正15年に完成した西洋風のレンガ造りのポンプ場。同年に上水道通水を記念して通水式が行われた。



▼徳島港（現在の富田橋下流付近）

貨客の集散地となっていた徳島港。当時は、まだかちどき橋はなく、渡船で渡っていた（大正初期）。

大正



◀上水道の通水を祝賀するため、美しくデコレーションがほどこされた商店街（大正15年）。





▲吉野川橋と吉野川 昭和3年に開通し、当時は東洋一の長大道路橋として雄大な景観を誇っていた。橋の下で練習する徳中漕艇部員と見物人ののどかな風景。右上は橋の下を曲乗りする飛行機（昭和初期）。



▲市立実費診療所 昭和3年、市営の診療所として元市役所横（徳島町）に開設。現在の市民病院の前身となる施設。



▶眉山ロープウェイ 眉山山頂への登頂手段として、昭和32年に市営のロープウェイが開通。観光客や市民に人気を博した。

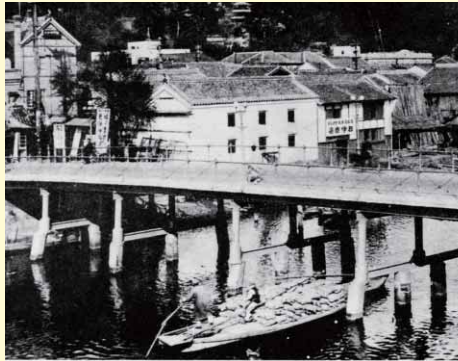
▶市バス 昭和4年に開業。当時の主な交通機関である民営の乗合自動車や人力車に比べて市バスの料金は割安だったため、市民に歓迎された。泥よけをつけた創業当時の市バス。



昭和



▲市立動物園 昭和32年、中徳島町に市立動物園が開園。平成10年に方上町・浜野町の徳島市総合動物公園に移転するまで、多くの市民でにぎわった。



▲新町橋 明治13年に本県で初めて鉄橋に架け替えられた新町橋。当時はモダンな姿を川面にうつし、橋の下を上荷船が往き来していた（昭和10年頃）。昭和20年の空襲で焼け落ち、その後昭和27年に西側（上流）に新しい橋を併設して二重橋としその装いを一変した。



▲新町川と藍倉 紺碧の川面に影をうつす藍倉、行き交う帆船。昔の新町川はそんなたすまいであった。内外物資の集散地として船場が設けられたこの川は、港を開いて徳島に繁栄をもたらした水運のメッカであった（昭和初期）。

〈注〉掲載の古い写真は、「写真で見る徳島市百年（徳島市市史編さん室発行）」から抜粋したものです。



現在、そして未来へ
徳島市の将来像
「心おどる水都・とくしま」をめざして



まちににぎわいがあふれ、人々が元気に活動している
「元気とくしま」をめざして



◀新しい地域資源のLED（発光ダイオード）を活用したまちづくりに取り組んでいます。



▶PF方式により校舎の改築を行い、特色ある魅力的な徳島市立高校づくりに取り組んでいます（上図は完成予想図）。

だれもがまちの主役として輝くことのできる
「信頼とくしま」をめざして



◀市役所1階に、窓口の案内などを行うフロアマネージャーを配置するなど、市民の皆さんが満足できる窓口サービスの充実に取り組んでいます。

だれもが健康で安全に暮らすことのできる
「安心とくしま」をめざして



◀地域住民が主役となった市民参加型の防災訓練を行うことにより、地域防災力の向上を図ります。



▶平成20年に開院した新市民病院は、地域における中核病院として、地域医療機関と連携し、医療サービスの向上に努めています。

掲示板

申…お申し込み方法 問…お問い合わせ先

募集

市民税課の臨時職員

課税資料の受け付け、整理などを行う臨時職員を若干名募集。雇用期間は1月26日(月)～3月19日(内)。日給は6,650円。

申 履歴書を持って、1月6日(火)9:00～16:00に市民税課(市役所2階 ☎621-5065)で行う面接へ。

徳島市民病院の臨時職員

徳島市民病院に勤務する臨時職員を下表のとおり募集。採用は随時。日給(経験年数に応じて決定)のほかに、時間外勤務手当、通勤手当(2%以上)、期末手当(賞与)あり。勤務日は応相談。

職種	募集人数	日給(各種手当別)
看護師	3交替	10人 9,800円～12,600円
	日勤	若干名 9,550円～12,350円
	半日	5人 4,900円～6,350円
准看護師	日勤	4人 7,650円～10,750円
	半日	4人 3,950円～5,550円
理学療法士	2人	8,200円～10,700円

申 市民病院管理課(☎622-9323)へ。

リフォーム講習会

内容は「不用な傘でエコバッグを作りましょう」。▶A班＝1月23日(金)▶B班＝1月26日(月)。時間はいずれも13:00～16:00。シビックセンター5階で。対象は市内在住の人。定員各班15人(抽選)。準備物は不用な雨傘と簡単な裁縫セット。受講は無料。

申 往復はがきに希望する班、住所、名前、電話番号、返信あて名を記入し、1月15日(休)

(当日消印有効)までに、消費生活センター(〒770-0834 元町1-24 ☎625-2326)へ。

くらしの講座

1月30日(金)13:30～15:00。シビックセンター5階で。テーマは「2009年くらしはこう変わる」。講師は消費生活アドバイザー・加渡いづみさん。対象は市内在住の人。定員40人(先着)。受講は無料。

申 消費生活センター(☎625-2326)

応急手当の実技講習会

1月18日(日)13:00～16:00。東消防署(新蔵町1)で。人工呼吸法や胸骨圧迫、AEDの取り扱いなど。受講は無料。

申 東消防署(☎656-1195)、西消防署(☎631-0119)

ガラス製赤ちゃん誕生記念品の制作

1月11日(日)9:00～12:00、13:30～16:30。徳島ガラススタジオ(勝占町中須)で。足形は3カ月児、手型は1歳児ぐらいから。定員各各10人(先着)。1個4,000円～5,000円。

申 徳島ガラススタジオ(☎669-1195)へ。

とくしま植物園教室受講生

とくしま植物園緑の相談所などで。対象は、市内在住・在勤・在学の人。

◆フラワーアレンジメント教室(冬コース)

講習日	内 容
1/28(水)	花束
2/18(水)	テーブルアレンジメント
3/4(水)	コサージュ

時間はいずれも10:30～12:30 [定員]20人(抽選) [参加費]16,000円(3回分・材料費込み)

◆ネイチャーゲーム

2月1日(日)10:00～12:00。内容は「冬のはやしを歩くネイチャーゲーム大会」。定員は小学生とその保護者30人(抽選)。参加費100円(保険料)。

◆シャドーボックス教室

2月6日(金)13:30～15:30。内容は「シ

ャドーボックスで飾るひなまつり」。定員は10人(抽選)。参加費2,000円(材料費込み)。

申 往復はがきに教室名、住所、名前(ネイチャーゲームは参加者全員の)、年齢、電話番号、返信あて名を書いて、1月10日(必着)までに、とくしま植物園緑の相談所(〒771-4267 淡野町入道45-1 ☎636-3131)へ。徳島市ホームページ「電子申請」からも申し込み可。

催し

徳島城博物館新春イベント

徳島城博物館で。▷七草がゆ&新春獅子舞＝1月6日(火)。七草がゆは11:30～14:00の間に先着100人に。獅子舞は11:00～11:15に公演。▷南京玉すだれ＝1月10日(土)13:00～16:00。館内各所で複数回公演▷子ども百人一首かるた大会＝1月11日(日)9:30～16:00。同博物館の「かるた教室」を受講した子どもたちが技の競い合い。模範試合は13:00開始。入館料は大人300円、高校・大学生200円、中学生以下は無料。

問 徳島城博物館(☎656-2525)

市立図書館 <1月のおはなし室プログラム>

▷10日(土)人形劇▷17日(土)お話しと手遊び▷24日(お)おふと抱っこふれあい遊び▷31日(土)絵本と手遊び。各10:30～11:00。▷25日(日)エンジョイイングリッシュ。10:00～11:00。

問 市立図書館(☎654-4421)

お知らせ

消防出初め式

1月11日(日)9:30～12:10。アスティとくしまで。内容は、特殊車両披露、消防団ポンプ操法、古式しご操法、市民参加の消防雑学クイズ、徳島県消防防災ヘリコプ

ター祝賀飛行、祝賀放水など。

問 消防局(☎656-1190)

農業委員会委員選挙人名簿登録受け付け

1月10日(土)まで。市農業委員会(市役所本館3階)で。資格要件は満20歳以上(平成元年4月1日以前生まれ)で、1月1日現在徳島市に住所を有し、次のいずれかに該当する人。▷10%以上の農地で農業経営をしている人およびその同居親族、またはその配偶者で年間おおむね60日以上耕作している人▷農業生産法人の組合員または社員。

問 農業委員会事務局(☎621-5394)、選挙管理委員会事務局(☎621-5373)

ぐるぐるバス運休

1月1日(祝)・3日(土)・4日(日)は運休。

問 徳島総合観光案内所(☎652-7694)

国民健康保険料と後期高齢者医療保険料の納付方法について

後期高齢者医療制度の保険料および65歳以上75歳未満の人だけの世帯の国民健康保険料の納付については、年金天引きを原則としていましたが、平成21年4月から天引きか口座振替かを選択できるようにになりました。

平成21年4月から年金天引きとなる見込みの人(世帯)には、案内はがきを1月10日ごろ発送しますので、口座振替を選択される人は、はがきに記載の期日までに金融機関で口座振替の手続きをしてください。

問 保険年金課(☎621-5384)

燃やせるごみ・資源ごみの収集

1月12日(月)は平常どおり行います。

問 生活環境課(☎621-5217)

1月の無料相談

女性センター(アミコビル4階)

<女と男生き方相談> ☎624-2613

[対象] 市内在住・在勤・在学の人

一般相談・カウンセリング【電話・面談(要予約)】	10:00～17:00 <休>日曜、火曜、祝日、1月2日～4日
夜間相談【電話・面談ともに要予約】	7-14・21日(水) 18:00～ 9-16・23日(金) 20:00

※託児あり(1歳～就学前まで)。無料。要申し込み

消費生活センター(アミコビル4階)

<消費生活相談> ☎625-2326

[対象] 市内在住の人

消費生活相談	10:00～18:00(受け付けは17:00まで) <休>火曜、祝日、1月2日、3日
--------	--

なんでも相談市民センター

市役所1階 ☎621-5200・5129

<専門員による相談> [対象] 市内在住の人

弁護士	14・21・28日(水)	13:00～16:00
行政相談委員	5日(月)	13:00～15:00
人権擁護委員	6・20日(火)	13:30～16:00
土地家屋調査士	15日(水)	10:00～12:00
司法書士	毎週月・金曜	10:00～12:00
行政書士	毎週火曜	10:00～12:00
住まいづくり	22日(木)	10:00～13:00
社会保険労務士(年金相談)	8日(水)	13:00～16:00
心配ごと(相続・離婚など)	毎週月～金曜	9:00～15:30
交通事故	毎週月～金曜	9:00～15:30

①弁護士相談のみ予約制で、7日(水)8:30から電話でのみ予約受け付け。各日9人(先着)1人20分以内。
*行政相談委員相談は、ふれあい健康館1階相談室でも実施。【とき】21日(水)13:00～15:00
*司法書士相談は、シビックセンター5階第2活動室でも実施。【とき】11日(月)・25日(日)10:00～12:00

保健センター(ふれあい健康館内)

<医師による健康相談> ☎656-0515

[対象] 市内在住の40歳以上の人【要予約】

一般健康相談	13日(火)	13:00～15:00
もの忘れ予防相談	21日(水)	9:30～11:30
介護予防相談	13日(火) 21日(水)	13:00～15:00 9:30～11:30
歯周病予防相談	15日(木)	13:00～15:00
糖尿病相談・禁煙支援相談	27日(火)	13:00～15:00

<栄養士による栄養相談> ☎656-0534

[対象] 市内在住の人【要予約】

生活習慣改善栄養相談	毎週水曜	9:00～12:00 13:00～16:00
------------	------	---------------------------

阿波おどり会館

阿波おどり新春特別公演

阿波おどり会館では、1月2日(金)、3日(土)の2日間、有名連による「阿波おどり新春特別公演」を開催します。

[公演時間] 13:00～と15:00～の1日2回(各50分)

[定員] 250人

[入場料] 入場料は大人500円、小中学生250円。各公演開始の1時間前から発売。



[出演] 1月2日(金)＝藝茶楽(写真上)、3日(土)＝浮助連(同下)

[問い合わせ先] 阿波おどり会館(☎611-1611)

新春★とくしま★クロスワードパズル

徳島市に関する言葉などを集めて、クロスワードパズルを作ってみました。パズル中の○の文字を組み合わせて、なんと1語になるでしょう。

「タテのかぎ」

①考古資料館や阿波史跡公園がある場所は?○○○
②昔の徳島の子どもは、○○○箱に食べ物を詰めておでかけするのが大好きです。
③初詣、神社で引くおみくじ、ことし1年の○○○だめし。
④進めています。学校の耐震化、災害時に一番大切なのは、○○○を守ること。
⑤近い将来の発生率が高いと言われている東南海・南海地震。しかし、地震を予知、○○○するのは難しい。
⑦「人形浄瑠璃」阿波藍「阿波文化」○○○。徳島独特の文や○○○が今に受け継がれています。
⑧竹富恵子さん、柴門みみさん、徳島市出身の○○○家です。
⑩大正2年、徳島市に来住したポルトガルの文豪は?
⑪昭和42年、徳島市の花に決まりました。
⑫桃の節句にちなんで、徳島城博物館では毎年、

「ヨコのかぎ」

①徳島市の主食は?
②日本市を流れる水量豊富な吉野川。その○○○。○な姿は私たちの心を癒してくれます。
③ゼロの○○○事業を取り入れるなど、徳島市は行政健全化に全力で取り組んでいます。
④保健センターも入っている「ふれあい健康館」略して「○○○○」。
⑤市とNPOなどが協力して魅力ある○○○づくりを推進する「協働提案事業」。
⑥がんばったみんなにあげたい、○○○メダル。
⑩徳島中央公園にある「再建」は、平成元年に建てられました。
⑪規定、またの名を○○○
⑫クロスワードの文字はすべてカタカナか○○○で入れます。
⑭○○○あはれ愛いなしは、毎年校の○○○アツプが行われています。
⑮徳島市の将来像は「心おどる○○○とくしま」。

※答えは2面下